マイクロコンポーネントMDシステム

型名 **UX-W500**-S/-W/-B

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が搭載されています。

電源プラグをコンセントに差し込むと電源が「**入**」になり、表示窓に本機の特長や機能などを紹介するデモ表示(CD&WMD&カセット、MD→MD X2 SPEED REC!など)が自動的に始まります。

■
DEMO

デモ表示が出ないようにするには…

電源「**切**」のとき、本体の**■/DEMO**(デモ)を2秒以上押してください。

「DEMO(デモ) CLEAR(クリア)」が表示され、デモ表示は動作しなくなります。この状態にしてからお使いください。

詳しくは、「表示窓のデモ表示について」(➡ **9**ページ)をご覧ください。

MDLP

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～5ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機(表示窓「消灯」)時
消費電力 1.0 W

GVT0167-001A

目　次

安全上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

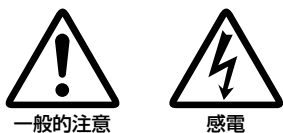
⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

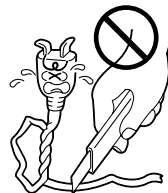
水場での使用禁止

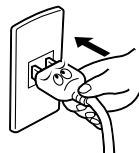
本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

⚠ 警告

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

表示された電源電圧(交流100 ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

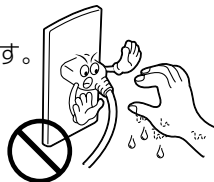
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれ倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒しし、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

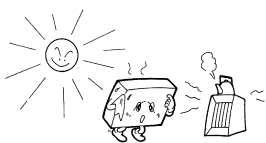
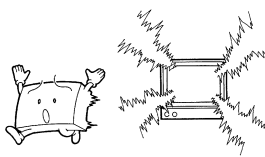
もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

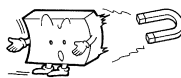
使用上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

本機やCD、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

- 本機の使用環境温度は、5℃～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。
- 本機は、必ず水平な状態でお使いください。特に8センチCDを使用するときはご注意ください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

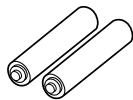
露がついたら

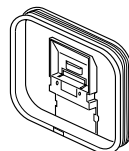
次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
  このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認　お使いになる前にお確かめください。

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

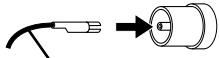
リモコン
RM-SUXW500-S
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

• この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

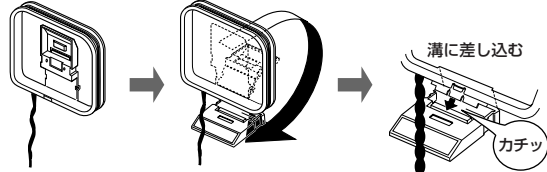
接　続　ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

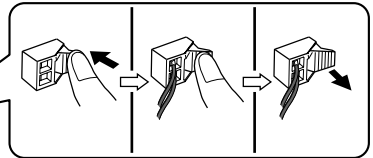
FM簡易型アンテナの接続（付属品）

中央のピン部に差し込みます。

- 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

付属のアンテナだけでは受信状態が悪いときは、**8**ページもご覧ください。

AMループアンテナの接続（付属品）

- 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
  本体からできるだけ離して置いてください

アンテナ線はどちらに接続しても受信状態は同じです。

スピーカーコード先端のビニールは、**ねじりながら抜き取ります。**

お知らせ

- アンテナを接続してないと、放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは、金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信状態が悪くなります。

スピーカーネットの外しかた

お手入れのときなど、スピーカーのネットを手前に引いて取り外すことができます。

スピーカーコードの接続

各スピーカー背面からのコードを、本体のスピーカー端子に接続します。

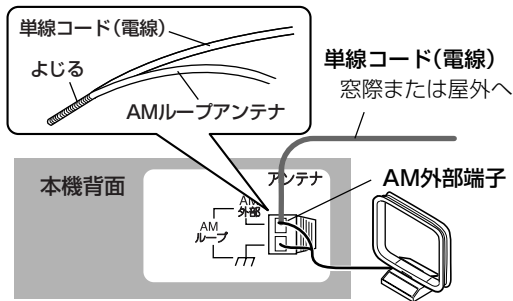
- 正面向かって右スピーカーのコードを右・R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーのコードを左・L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの白線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω 〜16Ωです。

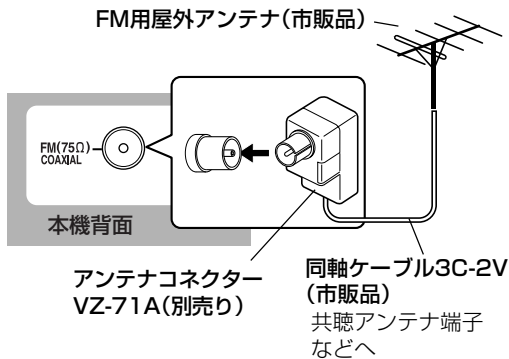
ご注意

- スピーカーコードの白線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは、防磁設計(JEITA仕様)になっておりません。テレビの近くに設置するとテレビに色ムラを生ずることがあります。テレビとは10cm以上離して設置してください。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

付属のアンテナだけでうまく受信できないとき

■ AM放送

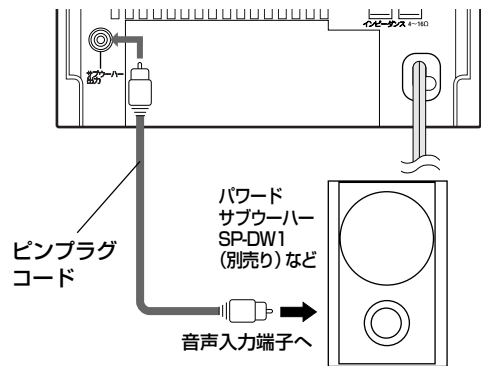
AM外部端子に3m～5mの単線コード（電線：市販品）を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
AMループアンテナも一緒に接続しておきます。
部屋の条件によっては、雑音が多くなることもあります。

■ FM放送

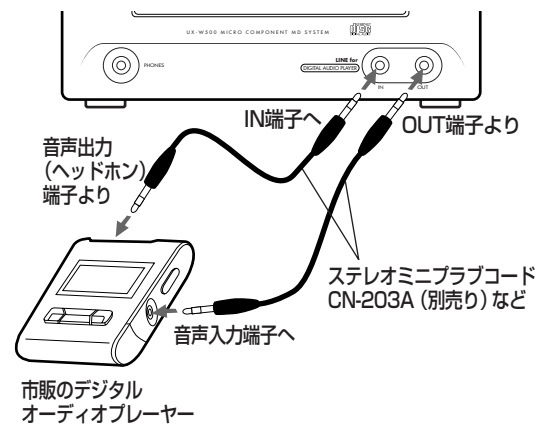
市販のFM用屋外アンテナを使用します。
マンションなどの壁の共聴アンテナ端子（VHF TV用）を使います。
FM簡易型アンテナは外します。
市販の同軸ケーブルとアンテナコネクター(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り）がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。

他の機器の接続

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

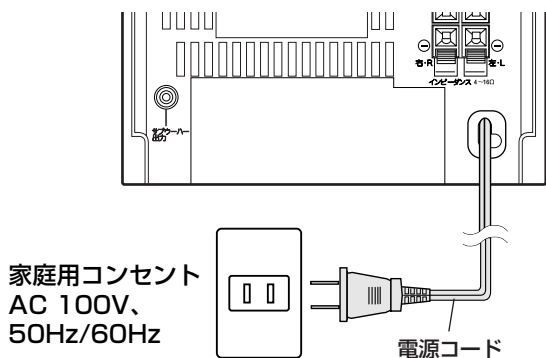
パワードサブウーハーの接続

別売りのパワードサブウーハーをサブウーハー出力端子に接続します。

デジタルオーディオプレーヤーの接続

別売りのステレオミニプラグコードを使って、本体前面のLINE端子とデジタルオーディオプレーヤーを接続します。

- アナログ音声入力端子が付いているデジタルオーディオプレーヤーにつなぐと、録音できます。
- ビクター製のデジタルオーディオプレーヤーには、アナログ音声入力端子が付いています。
- デジタルオーディオプレーヤー以外でもアナログ音声入力端子のある機器は接続することができます。

リモコンの準備

電源コードの接続　すべての接続が終了してから

電源プラグを家庭用コンセントへ接続する

表示窓のデモ表示について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「Hello（ハロー）」表示のあと「DEMO（デモ） START!（スタート）」と表示され、本機の特長や機能を紹介するデモ表示が自動的に始まります。
本機のいずれかの操作をすると、「DEMO（デモ） OFF（オフ）」と表示され、デモ表示は解除されます。
デモ表示中に本体の■/DEMO（デモ）を押したときも、「DEMO OFF」と表示され、デモ表示が解除されます。

- **デモ表示が出ないようにするには…（通常はこの状態でお使いください）**

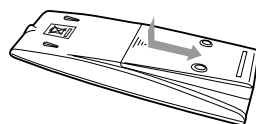
  電源「**切**」のとき、本体の■/DEMO（デモ）を2秒以上押します。「DEMO（デモ） CLEAR（クリア）」が表示されます。
  電源コードを抜き差ししてもデモ表示は始まりません。
  元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。
  表示窓に「Hello」と表示されたあと、「DEMO START!」が表示されデモ表示が始まります。

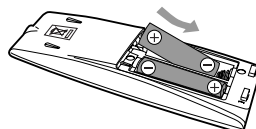
お知らせ

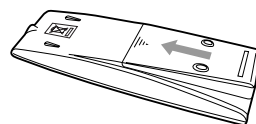
- **「デモ表示」のときは、電源「入」の状態になります。本機を移動したり設置し直したり、停電があったときの誤動作を防ぐため、「DEMO CLEAR」を表示させてからお使いください。**
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください（電源が切れていても、電源コードが接続されていると表示窓消灯時、約1.0Wの電力が消費されます）。

リモコンに乾電池を入れる

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

1 裏ぶたをあける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。
リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

「カチッ」と音がしてしまります。

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池（アルカリとマンガン）と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

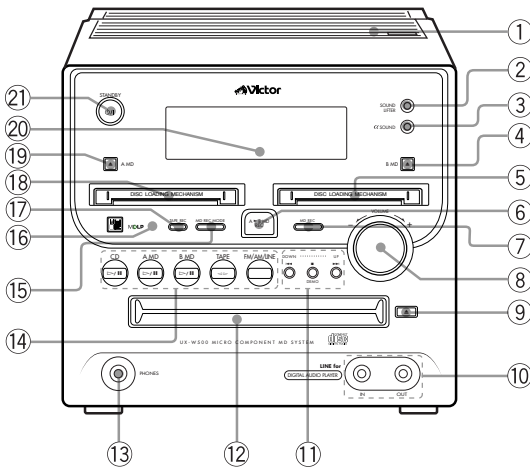
リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

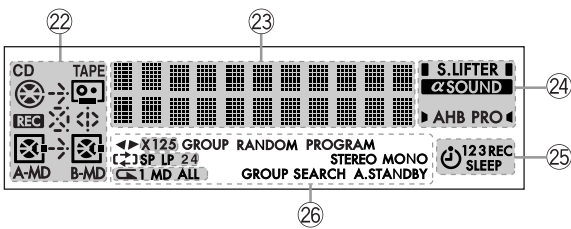
はじめに

各部の名前　ー(　)内の数字のページに説明がありますー

本体

① カセットホルダーと⏏ PUSH-OPEN
　(テープ取り出し)(25)
② SOUND LIFTER (15)
③ αSOUND (15)
④ ⏏ B MD(取り出し)(20)
⑤ B MD挿入口 (19)
⑥ A ► B MD REC (29)
⑦ MD REC (29, 49)
⑧ VOLUMEつまみ (13)
⑨ ⏏ (CD取り出し)(18, 49)
⑩ LINE IN/OUT端子 (8)
⑪ ⏮ (DOWN)、⏭ (UP)
- ラジオ (16)
- CD (20)
- A MD/B MD (20)
- テープ (26)

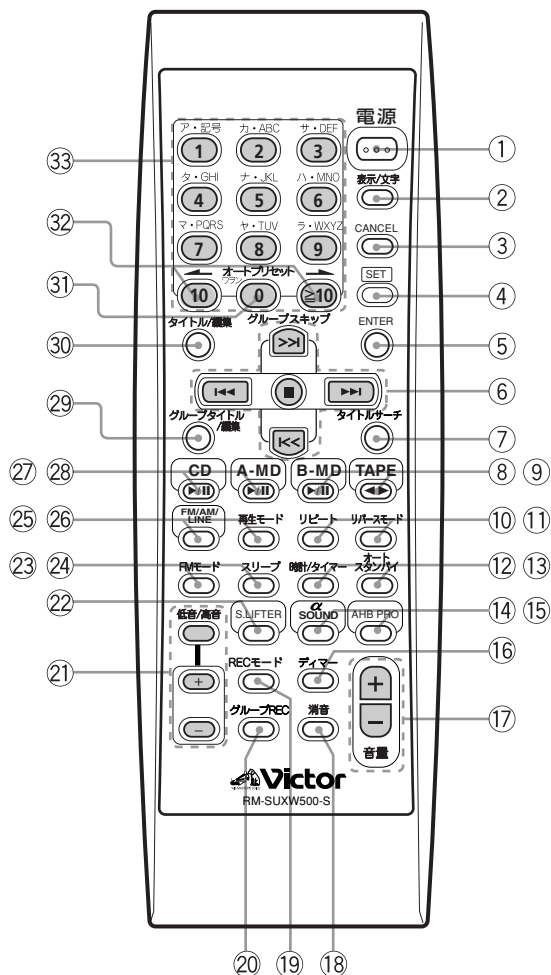
　■ (停止)
- デモ (表紙, 9)
- CD (20)
- A MD/B MD (20)
- テープ (26)

⑫ CDトレイ (18)
⑬ PHONES(ヘッドホン)端子
　ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカー、サブウーハーから音は出なくなります。
⑭ 操作ボタン
- CD ▷/II (13, 18)
- A MD ▷/II (13, 19)
- B MD ▷/II (13, 19)
- TAPE ◁ ▷ (13, 25)
- FM/AM/LINE (13, 16, 26)

⑮ MD REC MODE (29)
⑯ リモコン受光部 (9)
⑰ TAPE REC (32)
⑱ A MD挿入口 (19)
⑲ ⏏ A MD(取り出し)(20)
⑳ 表示窓
㉑ ⏻/I(電源) (13)

表示窓

㉒ ソース(音源)状態表示
㉓ 情報表示部
㉔ 音質表示
- S. LIFTER(15)
- α SOUND(15)
- AHB PRO(14)

㉕ タイマー表示(45〜48)
㉖ ピクト表示
- テープ走行方向表示(◀▶)(25)
- 録音スピード表示(X1、X 2、X 5)(29)
- GROUP表示(23, 28)
- RANDOM表示(23)
- PROGRAM表示(22)
- リバースモード表示(〔⇄〕)(25)
- 録音モード表示(SP、LP 2、LP 4)(29)
- STEREO表示(16)
- MONO表示(17)
- リピートモード表示
　(⊂1 MD ALL)(21)
- タイトルサーチ表示
　(GROUP SEARCH)(24)
- A.STANDBY表示 (49)

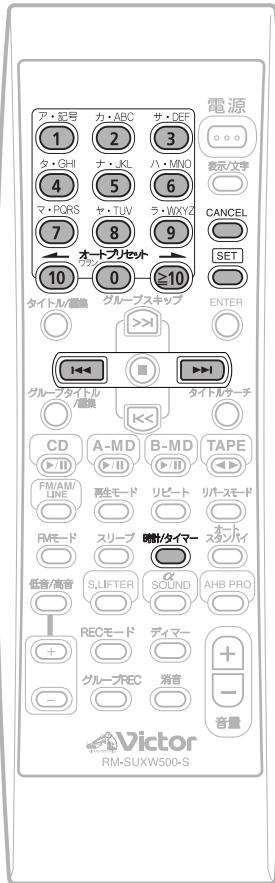
リモコン(RM-SUXW500-S)

① 電源 (13)
② 表示/文字 (14, 17, 20, 24, 30, 35, 36)
③ CANCEL (12, 22, 24, 35, 36〜38, 40, 41, 46, 48)
④ SET (12, 17, 24, 26, 35, 38〜44, 46, 47)
⑤ ENTER (17, 24, 35, 38〜44)
⑥ |◀◀、▶▶|
- ラジオ (16, 17)
- CD (20, 22, 23)
- A MD/B MD (20, 22, 23, 38〜42)
- テープ (26)
- 時計、タイマー (12, 46)

■ (停止)
- CD (20)
- A MD/B MD (20)
- テープ (26)

|<<、>>| (16, 23, 35, 42〜44)
⑦ タイトルサーチ(24)
⑧ B-MD ▶/❚❚ (13, 19, 20, 22, 23)
⑨ TAPE ◀ ▶ (13, 25)
⑩ リピート(21)
⑪ リバースモード(25)
⑫ 時計/タイマー(12, 46)
⑬ オートスタンバイ(49)
⑭ α SOUND(15)
⑮ AHB PRO(14)
⑯ ディマー(14)
⑰ 音量 +、− (13)
⑱ 消音(14)
⑲ RECモード(29〜31)
⑳ グループREC(28, 48)
㉑ 低音/高音、+、−(14)
㉒ S. LIFTER(15)
㉓ FMモード(17)
㉔ スリープ(45)
㉕ FM/AM/LINE(13, 16, 17, 26)
㉖ 再生モード(22, 23, 33)
㉗ CD ▶/❚❚ (13, 18, 20, 22, 23)
㉘ A-MD ▶/❚❚ (13, 19, 20, 22, 23)
㉙ グループタイトル/編集 (35, 38, 41〜44)
㉚ タイトル/編集 (17, 35, 38〜41)
㉛ オートプリセット (17)
㉜ 10、≧10 (12, 16, 17, 20, 24, 35, 36, 41)
㉝ 数字ボタン (12, 16, 17, 20, 22, 24, 35, 36, 41)

時計を合わせる

現在時刻と曜日を設定します。

- 現在時刻は、テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。

ご注意

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻と曜日が正しいことを確認してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00　Sun.」表示に戻ります。もう一度正しい時刻と曜日に合わせてください。

解説

24時間表示の時計と曜日を合わせます。

- **電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。**

1 時計/タイマー を押す

「時」表示が点滅

2 ▶▶I(または I◀◀)で「時」を合わせてから SET を押す ▶▶I(または I◀◀)で「分」を合わせてから SET を押す ▶▶I(または I◀◀)で「曜日」を合わせてから SET を押す

曜日表示:

Ｓｕｎ．→日曜日、Ｍｏｎ．→月曜日、
Ｔｕｅ．→火曜日、Ｗｅｄ．→水曜日、
Ｔｈｕ．→木曜日、Ｆｒｉ．→金曜日、
Ｓａｔ．→土曜日

- 「時」または「分」を合わせるとき、▶▶I(または I◀◀)を押したままにすると、連続して変わります。
- 電源「**入**」のときは、数秒後にソース(音源)の表示に戻ります。
- 「曜日」の**SET**を押す前に、**CANCEL**を押すと「分」さらに「時」の設定に戻ります。
「分」の**SET**を押す前に、**CANCEL**を押すと「時」の設定に戻ります。
- 時刻を合わせ直すときは、時計/タイマーを4回押して、時計を表示させてから、**手順2**の操作をします。

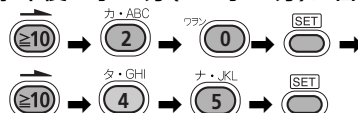
時刻を数字ボタンで合わせる

手順2のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせることもできます。

- 「曜日」は合わせることはできません。

数字が1～10のとき：そのまま数字ボタンを押す
数字が11以上のとき：≧10を押してから数字ボタンを押す

例:午前8時5分に合わせるとき

例:午後8時45分(20時45分)に合わせるとき

基本操作

＊ 以後、本書では、主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

1

を押す（本体は ⏻/I を押す）

- 電源が入り、「Hello（ハロー）」が表示されたあと、現在のソース（音源）名が表示されます。

イチ押しプレイ：
- CD ▶/⏸、A-MD ▶/⏸、B-MD ▶/⏸、TAPE ◀ ▶、FM/AM/LINEのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります（CD、MD、テープが入っているときは、演奏が始まります）。

2

のいずれかを押して再生する

ソース（音源）を選ぶ

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD ▶/⏸（本体はCD ▷/⏸）を押す。	18
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れ、A-MD ▶⏸（本体はA MD ▷/⏸）またはB-MD ▶⏸（本体はB MD ▷/⏸）を押す。	19
ラジオを聞く	FM/AM/LINEを押して FMまたはAMを選び、聞きたい放送局を選局する。	16
テープを聞く	テープを入れ、TAPE ◀ ▶（本体はTAPE ◁ ▷）を押す。	25
他の機器の音声を聞く	他の機器をつなぎ、FM/AM/LINEを押して LINEを選ぶ。	26

3

＋／－（音量）を押して音量を調節する

- VOLUME 0～40の範囲で調節できます。
- 本体のときは、VOLUMEつまみを回します。

4

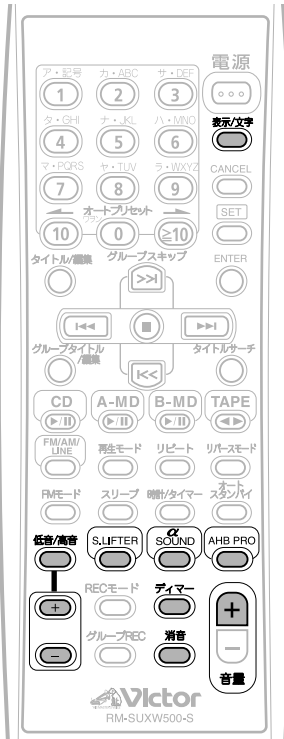
使い終わったら **を押して電源を切る**

表示窓に「See You（シー ユー）」が表示されたあと、現在時刻と曜日が表示されます。

お知らせ

- 電源「切」のとき⏏（CD取り出し）を押すと、電源が入りCDトレイが出てきます。
⏏ A MDまたは⏏ B MD（MD取り出し）を押すと、電源が入り、MDが入っているときは出てきます。
- **電源「切」のときは、MDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。**

基本操作

その他の基本操作

一時的に消音する

解説 電話のときなど、ボタン一つで簡単に音を消すことができます。

- **消音 を押す**

「FADE MUTING」と表示され、音量が「0」まで下がります。
もう一度**消音**を押すと、徐々に元の音量に戻ります。

- リモコンの**音量＋**を押す、または、本体の**VOLUME**つまみを回して音量を上げることもできます。

重低音を強調する

- **AHB PRO* を押す**

押すごとに「ON↔OFF」が選べます。
「ON」(お買い上げ時の状態)のときは表示窓に ▶AHB PRO◀ が表示され、クリアで迫力のある重低音が楽しめます。

* AHB PRO
Active Hyper Bass PROの略です。

音質を調節する

1 低音/高音 をくり返し押して「BASS」(低音)または「TREBLE」(高音)を選ぶ

表示中に

2 ＋ または － を押して調節する

－5～0～＋5の範囲で調節できます。

- 音質調節の表示は、数秒後にソース(音源)表示に戻ります。

表示窓を暗くする(ディマー機能)

- **ディマー を押す**

押すごとに表示窓の明るさが次のように変わります。

→DIMMER 1 ：表示部→暗い、照明→暗い
↓
DIMMER 2 ：表示部→ DIMMER 1より暗い、照明→消える
↓
DIMMER OFF: 表示部→明るい、照明→明るい

- 電源「**切**」のときは、「DISPLAY OFF ↔ DISPLAY ON」になります。
「DISPLAY OFF」のときは、時計表示が消えます。

操作中に表示を変える

- **表示/文字 を押す**

ソース(音源)がMD以外のとき：
押すごとに**時計と曜日表示 ↔ ソース(音源)表示**に切り換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、MDの録音残量時間(**REC REMAIN**表示)も見ることができます。

ソース(音源)がMDのとき：
「MDを演奏中にタイトルなどを見るには」(➡**20**ページ参照)をご覧ください。

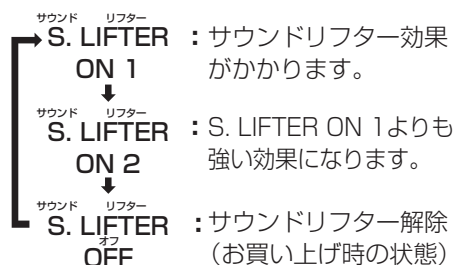
サウンドリフターを使う

解説

音像を上方向に拡大し、エキサイター機能で音質の明瞭度も向上します。

本機のスピーカーを床などに置いても、臨場感ある再生音がお楽しみいただけます。

- S.LIFTER **を押す**
  - 押すごとに次のように変わります。

S. LIFTER ON 1（サウンド リフター）：サウンドリフター効果がかかります。
↓
S. LIFTER ON 2（サウンド リフター）：S. LIFTER ON 1よりも強い効果になります。
↓
S. LIFTER OFF（サウンド リフター オフ）：サウンドリフター解除（お買い上げ時の状態）

- サウンドリフターを「**オン**」にすると表示窓の ▮ S.LIFTER ▮ 表示が点灯します。

お知らせ

- 演奏するソース（音源）やCDによっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは、別のモードを選ぶか解除してください。ソース（音源）は2chステレオモードをお勧めします。

照明について

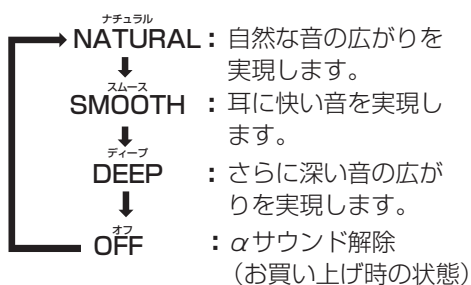
本機は、電源を「**入**」にするとA MD、B MD挿入口とCDトレイの照明が青く点灯します。
演奏をすると、演奏している箇所の照明が点滅に変わります。
B MDで録音中は、B MD挿入口の照明が赤い点滅に変わります。

α（アルファ）サウンドを使う

解説

α波周波数のゆらぎで、いやしを目指したαサウンド*をお楽しみください。

- α SOUND **を押す**
  - 押すごとに次のように変わります。

NATURAL（ナチュラル）：自然な音の広がりを実現します。
↓
SMOOTH（スムース）：耳に快い音を実現します。
↓
DEEP（ディープ）：さらに深い音の広がりを実現します。
↓
OFF（オフ）：αサウンド解除（お買い上げ時の状態）

- αサウンドを「**オン**」にすると表示窓の αSOUND 表示が点灯し、ひろがりのある音が楽しめます。

***αサウンドとは…**

α（アルファ）波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号（L-R間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これをLFO変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

お知らせ

- 音量の調節、AHB PRO、音質の調節、サウンドリフター、αサウンドの効果は、スピーカーとヘッドホンの音声に効きます。録音される音には影響ありません。
- サウンドリフターとαサウンドの効果は同時に使えません。
- サブウーハーには、AHB PRO、サウンドリフター、αサウンドの効果は効きません。

ラジオ放送を聞く

放送局を受信する
（オート選局、マニュアル選局）

1 **FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

ソース（音源）がラジオになります。

2 **▶▶I（または I◀◀）を押して放送局を選ぶ**

2つの選局方法があります。

オート選局

周波数が変わり始めるまで押したままにします。変わり始めたら指を離します。放送局を受信すると周波数が止まります。途中で止めるときは、ボタンを「ポン」と押します。

マニュアル選局

押すごとに周波数が変わります。

- FMステレオ放送を受信すると、STEREO表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局で受信できないときはマニュアル選局に切換えてください。

記憶（メモリー）した放送局を選ぶ
（プリセット選局）

解説 オートプリセットまたはマニュアルプリセット（➡**17**ページ参照）で記憶（メモリー）させた放送局を呼び出します。

1 **FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

2 **数字ボタン（1 〜 10、0、≧10）で放送局のプリセット番号を選ぶ**（プリセット選局）

- 数字ボタンの使いかたは、**17**ページの説明を参照してください。
- リモコンの>>I（または I<<）を押してもプリセット番号を選ぶことができます。

お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.05MHzずつ、AM放送では9kHzずつ周波数が変わります。

FM放送	0.05MHzずつ	：76.00MHz〜108.00MHz
AM放送	9kHzずつ	：531kHz〜1629kHz

- 本機は、テレビ1ch：95.75MHz、2ch：101.75MHz、3ch：107.75MHzの音声を受信することができます。
- 電源を「**切**」にしたり他のソース(音源)に切換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオに切換えると、同じ放送局が受信できます。
- **本機はAMステレオ放送には対応しておりません。**

ご注意

- **電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。**

オートプリセット
（放送局を自動で記憶）

解説

FM放送とAM放送のオートプリセットは別々に行います。
受信できるすべての放送局、またはプリセットの最大数（FM：30局、AM：15局）まで記憶されると、オートプリセットは終了します。

1 FM/AM/LINE **を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

2 オートプリセット ワラン 0 **を2秒以上長押しする**

オートプリセットが始まったら指を離します。終了するとプリセット番号1の放送局が受信されます。

- FM放送のオートプリセットは、76.00MHz～108.00MHzの間で自動選局し記憶されます。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選び直してください。
- オートプリセットすると、放送局はすでに記憶されていた放送局に上書きされます。

数字ボタンの使いかた

1～10のプリセット番号を選ぶとき

～
のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選ぶとき

15を選ぶ：
➡
➡
20を選ぶ：≧10 ➡ カ・ABC 2 ➡ ワラン 0 と押します。

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき

FMモード **を押して受信モードを切換える**

表示窓のMONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります（このとき音声はモノラルになります）。

元に戻すときは
もう一度、**上記の操作**をします。
オート受信に変わり、FMステレオ放送のときは、STEREO表示が点灯します。

マニュアルプリセット
（放送局を手動で記憶）

1 FM/AM/LINE **を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

2 ▶▶I **（または** I◀◀ **）を押して記憶させる放送局を選ぶ**

➡**16**ページ「放送局を受信する（オート選局、マニュアル選局）」参照。

3 SET **を押す**

プリセット番号の**1**が点滅します。

点滅中に

4 **数字ボタン（**
≧10 ）を押してプリセット番号を選ぶ

- 数字ボタンの使いかたは、左側の説明を参照してください。

5 SET **を押す**

「STORED（ストアード）」が表示されます。表示が消えると記憶（メモリー）されます。
- FM放送の受信モード（左下の「FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき」参照）も記憶されます。

放送局名を入力する（最大8文字）

プリセット選局で受信した放送局に、最大8文字までの局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で受信中はできません。

1. タイトル/編集 **を押す**

2. 表示/文字 **と数字ボタン（**
）で局名を入力する

➡ 文字の入力方法は**35**ページの「タイトルをつける」の**手順4**と**36**ページ参照。

3. ENTER **を押す**
- 入力した局名が登録されます。

CD/MDを聞く

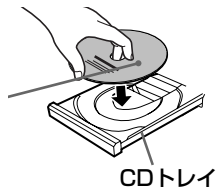
CDを聞く

1 **本体の ▲ (CD取り出し)を押す**

CDトレイが出てきます。

- 電源「**切**」のときは、電源が入ります。

2 **CDをCDトレイに置く**

- 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3 **本体の ▲ を押してCDトレイを閉める**

4 (本体は**CD ▷/II**)**を押す**

ソース(音源)がCDになり、演奏が始まります。CDの演奏が終わると自動停止します。

例:CD を演奏中の表示

- 停止中は、総曲数と総演奏時間が表示されます。

表示窓のCD表示について

ソース(音源)が「**CD**」のとき、CDトレイに入れたCDが読み込まれると、CD表示が点灯します。

CDトレイが出てくるとCD表示は消灯します。

- 演奏中は回転をイメージした点滅、一時停止中はふつうの点滅になります。

表示窓のMD表示について

A MD(またはB MD)挿入口にMDを入れると、表示窓のA MD(またはB MD)表示が点灯します。

- 演奏中は回転をイメージした点滅、一時停止中はふつうの点滅になります。

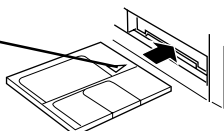
MD表示が点灯しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

ご注意

- カードや花などの形をした特殊形状のCDは、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出ていたり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、MDを入れることができません。無理に押し込むと故障の原因となります。

MDを聞く

1 MD挿入口(A MDまたはB MD)にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の向きに正しく差し込みます。MDは途中から中に引き込まれます。

ソース(音源)がA MD(またはB MD)のとき:
「A(またはB)MD READING」表示➡総曲数、総グループ数*とディスクタイトル(ついているとき)**➡総曲数、総グループ数*と総演奏時間**と表示されます。

- 未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。
- 長いタイトルはスクロール表示されます。

* グループ分けされていないときは「ーー」表示になります。

2 A MDデッキで演奏するとき:

(本体はA MD ▷/II)**を押す**

B MDデッキで演奏するとき:

(本体はB MD ▷/II)**を押す**

ソース(音源)がA MD(またはB MD)になり演奏が始まります。
曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間などが表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。
演奏が終わると自動停止します。

例:A MD を演奏中の表示

* グループ分けされていないときは「ーー」表示になります。

CD についているマークを確認してください

文字のある面に 、 または のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- **本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。**
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- **音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。**
  ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。**
- **MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。**
- **音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。**

本機のMDプレーヤーは、MD**LP**(「MD**LP**について」参照)で録音された曲の演奏に対応しています。

MD**LP**について

音声圧縮技術**ATRAC3**により、MDを最長4倍の長さに使えるステレオ長時間録音モードをMD**LP**といいます。LP4モードでは、4倍長ステレオ録音ができ80分MDで最長320分の録音・再生が可能です(LP2モードでは2倍長ステレオ録音・再生)。

MDの再生モード
MDは録音したときの録音モード(SP、LP2、LP4)に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード(録音モードと一致します)が表示窓に表示されます。

- **SP**:本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2**:2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき
- **LP4**:4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

聞きたい曲を指定する
（ダイレクト演奏）

• **聞きたい曲を数字ボタン**

で選ぶ

停止中は、押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

数字ボタンの使いかた

1～10の番号を選ぶとき

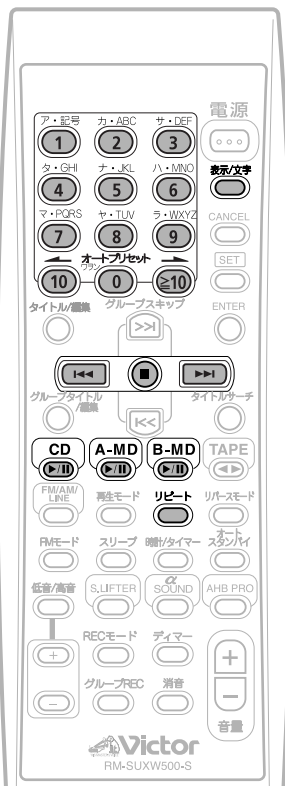
1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15を選ぶ：≧10 ➡ 1 ➡ 5

20を選ぶ：≧10 ➡ 2 ➡ 0

100を選ぶ：≧10 ➡ ≧10 ➡ 1 ➡ 0 ➡ 0

と押します。

CD/MDの基本操作

■ 演奏を停止する

① ■ を押す

■ 演奏を一時停止する

① CDのときは演奏中に CD ▶/II を押す

A MDのときは演奏中に A-MD ▶/II を押す

B MDのときは演奏中に B-MD ▶/II を押す

演奏時間表示が点滅します。
- もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

■ 曲の頭出しをする（スキップ）

① 演奏中に ▶▶I （または I◀◀ ）を押す

次の曲（または演奏中の曲）の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。
- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

■ 曲の早送り/早戻しをする（サーチ）

① 演奏中に ▶▶I （または I◀◀ ）を押したままにする

② 聞きたいところで指を離す

指を離したところから演奏が始まります。

■ MDを演奏中にタイトルなどを見るには

① 表示/文字 **を押す**

曲タイトル、グループタイトル、現在時刻などが順番に表示されます。
停止中に**表示/文字**を押すと、ディスクタイトル、現在時刻を見ることができます。
- ソース（音源）がA MDで、B MDデッキにMD が入っているときは、停止中にMDの録音残量時間(REC REMAIN)も見ることができます。
- ソース（音源）がCDのときは、「操作中に表示を変える」（➡**14**ページ）をご覧ください。

■ CD/MDを取り出す

CDを取り出す：本体の⏏（CD取り出し）を押すとCDトレイが出てきます。
A MDを取り出す：本体の⏏ A MDを押す
B MDを取り出す：本体の⏏ B MDを押す
出てきたMDは抜き取ってから他の操作をしてください。

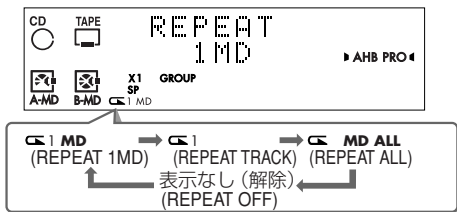
CD/MDのリピート演奏

CDのリピート演奏:

• リピート を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT ALL：（全曲リピート） CDの全曲がくり返し演奏されます。

REPEAT TRACK：（1曲リピート） 現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲がくり返されます。

MDのリピート演奏:

• リピート を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT 1 MD：（1枚MD全曲リピート演奏） 演奏するMDデッキの全曲がくり返し演奏されます。

REPEAT TRACK：（1曲リピート演奏） 現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲がくり返されます。

REPEAT ALL：（A MD➡B MD連続リピート演奏） A MDとB MDデッキの両方のMDが連続してくり返し演奏されます。
A MDとB MDデッキの両方にMDが入っていて、両方とも通常演奏のときだけ選べます。

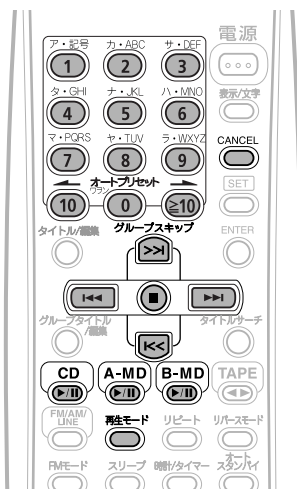
リピート演奏のモードを解除する

リピートをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。

- CDまたはMDを取り出したり電源を「**切**」にしても、リピート演奏のモードは解除されます。
- MDの場合「**REPEAT ALL**」のときは、停止中に**再生モード**を押して解除することもできます。

CD/MDのいろいろな演奏とリピート演奏を組み合わせたとき

- CDのプログラム演奏（➡**22**ページ参照）とREPEAT ALL（リピート全曲演奏）を組み合わせると、プログラム演奏をくり返します。
- CDのランダム演奏（➡**23**ページ参照）とREPEAT ALL（リピート全曲演奏）を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
- MDのプログラム演奏（➡**22**ページ参照）とREPEAT 1MD（1枚リピート全曲演奏）を組み合わせると、プログラム演奏をくり返します。
- MDのランダム演奏（➡**23**ページ参照）とREPEAT 1MD（1枚リピート全曲演奏）を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
- MDのグループ演奏（➡**23**ページ参照）とREPEAT 1MD（1枚リピート全曲演奏）を組み合わせると、1つのグループ内の全曲をくり返します。

CD/MDのいろいろな演奏

お知らせ

- プログラム演奏のとき33曲目をプログラムしようとすると、「MEMORY FULL（メモリーフル）」と表示され、これ以上プログラムできません。
- プログラムの総演奏時間が、CDは1時間40分以上、MDは2時間30分以上になると「－－：－－」と表示されます。
- A MD の曲と B MD の曲を一緒に使うプログラム演奏はできません。
- グループがない MD でグループ演奏の操作をしたときは、通常演奏と同じになり、表示窓のGROUP表示が消灯ます。

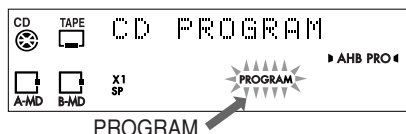
CD/MDのプログラム演奏

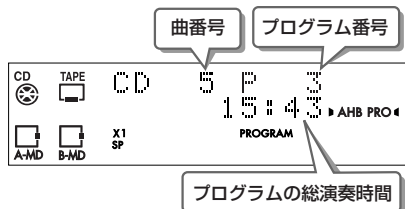
解説・準備

- 最大32曲までプログラムできます。

CDのとき:CD ▶/II ➡ ■を押す
A MDのとき:A-MD ▶/II ➡ ■を押す
B MDのとき:B-MD ▶/II ➡ ■を押す
演奏するソース（音源）にして、停止中に操作します。

1 再生モード をくり返し押して本体表示窓にPROGRAMを点灯させる

例：CD のプログラム演奏のとき

- すでにプログラムされているときは、曲番号、プログラム番号と総演奏時間が表示されます。

2 数字ボタンを押してプログラムする

- 数字ボタンの使いかたは**20**ページ「聞きたい曲を指定する（ダイレクト演奏）」を参照してください。
- 番号を間違えたときは、CANCELを押します。最後のプログラム内容が消えます。

3 CDのとき：CD ▶/II を押す

A MDのとき：A-MD ▶/II を押す

B MDのとき：B-MD ▶/II を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。
- 演奏が終わると自動停止します。

プログラムの内容を確認する
停止中に ▶▶I（または I◀◀）を押すと、プログラムの曲順を確認することができます。

プログラムを修正する
停止中にCANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。

プログラム演奏のモードを解除する
停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。

プログラム内容をすべて削除する
CANCELを2秒以上長押しします。すべてのプログラム内容が消去されます。
CDまたはMDを取り出す、または電源を「**切**」にしたときもすべてのプログラムが消去されます。

CD/MDのランダム演奏

解説・準備

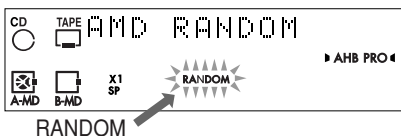
- CDまたはMDに収録されているすべての曲を、本機がランダム(無作為)に選んで演奏します。

CDのとき:CD ▶/II ➡ ■を押す
A MDのとき:A-MD ▶/II ➡ ■を押す
B MDのとき:B-MD ▶/II ➡ ■を押す
演奏するソース(音源)にして、停止中に操作します。

1 再生モード **をくり返し押して本体表示窓にRANDOMを点灯させる**

例:A MD のランダム演奏のとき

2 **CDのとき: CD ▶/II を押す**

A MDのとき: A-MD ▶/II を押す

B MDのとき: B-MD ▶/II を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- ▶▶I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして次の曲を演奏します。
- I◀◀ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏のモードを解除する
停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「**RANDOM**」以外にします。またはCD、MDを取り出すか、電源を「**切**」にします。

お知らせ

- A MD と B MD の両方を使ったランダム演奏はできません。
- A MDを録音するとき、ランダム演奏のモードになっていると録音状態になりません。モードを解除してください。

MDのグループ演奏

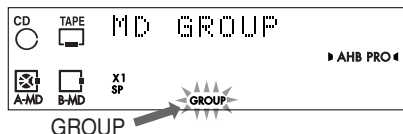
解説・準備

- 選んだグループに登録されている曲だけを演奏します。

A MDのとき:A-MD ▶/II ➡ ■を押す
B MDのとき:B-MD ▶/II ➡ ■を押す
演奏するソース(音源)にして、停止中に操作します。

1 再生モード **をくり返し押して本体表示窓にGROUPを点灯させる**

例:A MD のグループ演奏のとき

2 **A MDのとき: A-MD ▶/II を押す**

B MDのとき: B-MD ▶/II を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- グループ1を聞くときは、**手順3**の操作をしないで、このままお聞きください。

3 **>>I (または I<<)を押して演奏するグループを選ぶ**

選んだグループの最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。
グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

同じグループ内の演奏曲を変える
▶▶I (または I◀◀)を押します。
他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選べません。

演奏グループを変える(グループスキップ)
グループ演奏中に>>I (または I<<)を押します。

- 通常演奏中に上記の操作をすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

グループ演奏のモードを解除する
停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「**GROUP**」以外にします。

- MDを取り出すか、電源を「**切**」にしても、グループ演奏のモードは解除されます。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルやグループタイトルを探して（タイトルサーチ）演奏することができます。タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

タイトル入力に使うボタン

- **表示/文字**：文字の種類を切換えます。
- **≧10（または10）**：入力位置を移動します。
- **数字ボタン（1～9､0）**：文字を入力します。
- **CANCEL**：入力した文字を消します。

• 詳しい入力方法は**36**ページの「タイトル入力のしかた」をご覧ください。

お知らせ

• タイトルサーチの場合、空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
• タイトルサーチでは、英大文字と英小文字は区別されます。

準備

A MDのとき：A-MD ▶/II を押す
B MDのとき：B-MD ▶/II を押す
演奏するソース（音源）にします。

1

曲タイトルを探すとき：

タイトルサーチ を1回押してから、SET を押す

グループタイトルを探すとき：

タイトルサーチ を2回押してから、SET を押す

表示窓に入力表示が現れます。
• 演奏中のときは停止します。
• ソース（音源）がMD以外のときは、タイトルサーチができません。

例：曲タイトルを探すとき

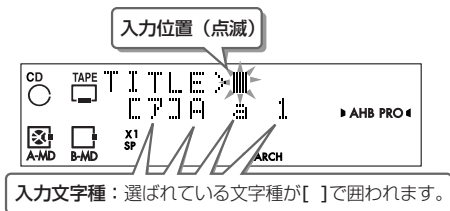
2 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1～5文字まで入力します。

例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを、「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

• タイトル入力に使うボタンは、上の説明をご覧ください。
• タイトルが記録されていない曲（NO TITLE）を探すときは、何も入力しないで**手順3**に進みます。
• 途中でやめるときは、**タイトルサーチ**を押します。

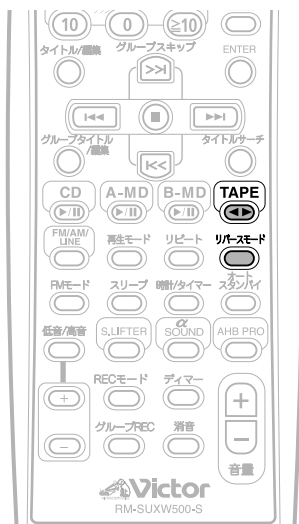
3 ENTER を押す

「SEARCH．．．．」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。
該当する曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、停止します。

次の曲を探すには

▶▶I を押すと、「SEARCH．．．．」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

タイトルサーチを途中でやめる

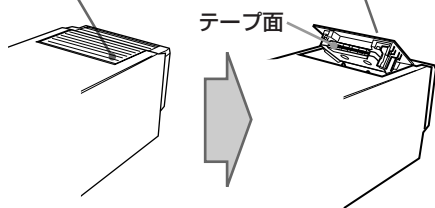
タイトルサーチを押します。タイトルサーチが解除され、演奏中の曲の頭に戻って演奏を続けます。

テープを聞く

本機は、ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE Ⅱ)やメタルテープ(TYPE Ⅳ)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

ご注意

- テープにたるみがあると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前にたるみを取り除いてください(➡**53**ページ参照)。
- C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

1 カセットホルダーの ⏏ PUSH-OPEN 部分を押して開け、テープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めてください。

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切換わります。

- ⇄] :A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- [⇄] :AB両面の**連続再生**(再生を停止するまでくり返し)
- ⇄ :A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**

3 TAPE (本体は TAPE ◁ ▷)を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE ◀ ▶ を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面…A面)**から走行します。
- テープのA面再生中は右向きのテープ走行方向表示(▶)が、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示(◀)が表示されます。
- ⇄ または ⇄] で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

表示窓のTAPE表示について

カセットホルダーにテープを入れて閉めると、TAPE表示が点灯します。カセットホルダーを開けるとTAPE表示は消灯します。

- 再生中は点滅します。

テープを聞く(つづき)

テープの基本操作

■ 再生を停止する

① (■) を押す

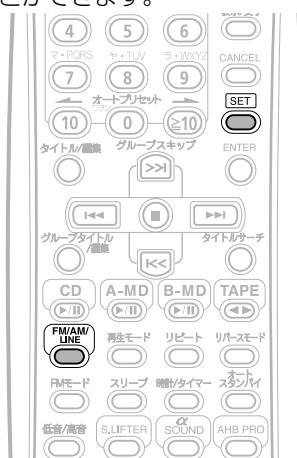
カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず■(停止)を押して再生を止めてからカセットホルダーの▲ PUSH-OPENを押します。

■ テープを早送り/巻き戻しする

① (▶▶I) (または (I◀◀))を押す

- 順方向(▶)の再生中は、▶▶I が早送り、I◀◀ が巻き戻しになります。
- 逆方向(◀)の再生中は、I◀◀ が早送り、▶▶I が巻き戻しになります。
- 早送りまたは巻き戻し中は、テープ表示が点滅します。

他の機器の音声を聞く

本機前面のLINE IN端子に接続した他の機器の音声を楽しむことができます。

1 (FM/AM/LINE) **をくり返し押して「LINE」を選ぶ**

2 他の機器の再生を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する

➡**13**〜**15**ページ「基本操作」、「その他の基本操作」参照。

LINEの音声入力レベルを調節する

解説

- 接続した他の機器からの音声入力レベルを調節することができます。

ソース(音源)がLINEのとき操作します。

- **入力レベルが表示されるまで (SET) を長押ししてレベルを選ぶ**

長押しするごとに次のように切換わります。

LEVEL 1: LINE INの**音声入力レベルが大きいときに選びます**。音声入力が小さくなります。(お買い上げ時の設定)

↕

LEVEL 2: LINE INの**音声入力レベルが小さいときに選びます**。音声入力が大きくなります。

- レベルの表示は、約2秒で消えます。

MDに録音する前に

録音にはB MDデッキを使います。（A MDデッキは、再生専用です）

ステレオ長時間録音(MDLP)

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量は録音モードに応じて変わります。

SP ：**標準のステレオ録音**
（MD80で最大80分の録音）
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大160分の録音）
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- LP2またはLP4モードで録音したMDを、SPモードで録音することもできます。
- 本機では、通常の2倍の時間で録音できる「モノラル録音」には対応しておりません。ただし、モノラルソース（音源）をMDLPの各モードで録音することはできます。
- カーAV機器がMDLPに対応していないときは、SPモードで録音してください。

倍速録音

音楽CDの音声は5倍速（最大）で、A MDの音声は2倍速で録音することができます。

ご注意

- **LP2またはLP4で録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では再生できません。曲タイトルの始めに「LP: 」と表示され、無音状態になります。「MDLP」に対応した機器で再生すると、「LP:」は表示されません。**
「LP: 」はつけない設定にすることもできます。（➡28ページ「LP：の設定」参照）
- **MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。**

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- CD、A MDからの音声を録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- ラジオ、テープ、LINE INの音声を録音するときは、トラックマークをつけたいところでリモコンの**SET**を押してトラックマークをつける**マニュアルマーク方式**（お買い上げ時の設定）、5分間隔で自動的にトラックマークがつく**タイムマーク方式**、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつく**オートマーク方式**があります。
マニュアルマーク方式/タイムマーク方式/オートマーク方式の切換えについては、「トラックマークの設定」(➡**31**ページ参照)をご覧ください。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は、必ず等速で試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください(同じ曲の倍速録音は74分後になります)。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- 音楽CDの音声は、デジタル信号のまま録音されます。
CD-R/CD-RWの音声は、「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音できません。このようなときは、「**CD-R/CD-RWの録音**(➡**29**ページ参照)」をご覧になり、アナログ録音してください。
ラジオ、テープ、LINEの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡**40**ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡**34**～**36**ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量･音質を変えても録音される音声には影響ありません。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

MDへの倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡**50**ページ参照)。

- この規定により、CDから一度5倍速(最大)録音した曲またはA MDから一度2倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

ご注意

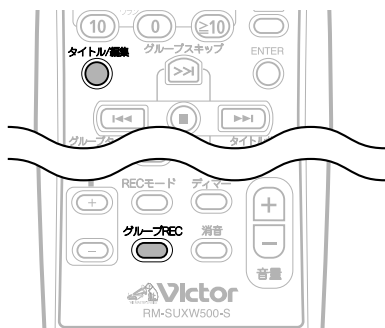
- **MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**

MDカートリッジのラベルについて

- **MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。**

MDに録音する

録音は、本体のボタンを使って説明します。

B MDに録音する前の設定

■ LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP: をつける／つけないの設定をします。

① タイトル/編集 を2秒以上長押しする

長押しするごとに次のように変わります。

(LP：) OFF： 曲タイトルの頭に **LP：** がつきません。
(LP：) ON ： 曲タイトルの頭に **LP：** がつきます。

■ グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして登録するとき**MD GROUPの設定**を「**ON**」にします。

① グループREC を押す

押すごとに次のように変わります。

GROUP REC ON：グループとして録音します。MD録音状態表示の**GROUP**が点灯します。
GROUP REC OFF：グループとして録音しません。MD録音状態表示の**GROUP**は点灯しません。

CDの5倍速(最大)録音について

本機で、CDをMDに倍速録音するときの録音速度には、5倍速と4倍速があります。

録音速度は、録音する時間によって異なり、本機が自動で判別します。

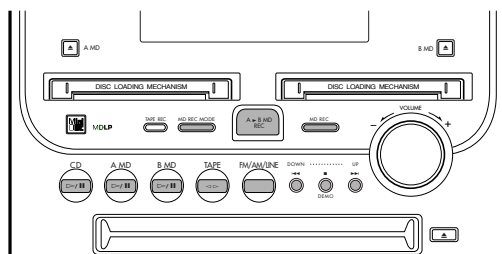
録音する時間が30分以上:5倍速(最大)

録音する時間が30分以下:4倍速

表示部の表示はいずれの場合も「x5」になります。

録音レベルは自動調節されます。

本　体

準備

録音用のMDをB MD挿入口に入れ、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「B MDに録音する前の設定」➡左の説明参照)。

- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**52**ページ参照)。

大切なお知らせ

CDを演奏中に本体の**MD REC**を押すと、CDの**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。

A MDを演奏中に本体の**A ► B MD REC**を押すと、A MDの**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。

CDやA MDの途中から録音するつもりで上記の操作をすると、演奏中以降の曲は録音されません。

このようなときは、CDまたはA MDの停止中に録音を開始する曲を選んでから**MD REC**または**A ► B MD REC**を押します。

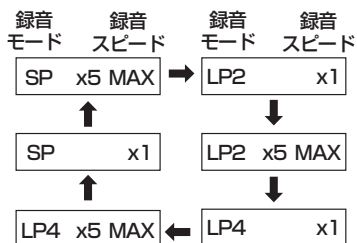
お知らせ

- CDの5倍速(最大)録音中、MDの2倍速録音中は、音声を聞くことはできません。
- CDの5倍速(最大)録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。
  このようなときは、等速で録音し直してください。
- 著作権保護のため、CDから一度5倍速(最大)録音した曲またはMDから一度2倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません(**HCMS ➡27**ページ参照)。
- A MDの音声を録音するとき、曲タイトルは録音と同時にB MDにコピーされます。ディスクタイトルは、B MDがブランクディスクで録音するときに限り、録音と同時にコピーされます。
- A MDの録音中は、周期的に動作音がしますが故障ではありません。

CDの録音

1 録音するCDを入れ、CD ▷/II を押してから ■ を押す

ソース(音源)をCDにし、停止状態にします。

2 MD REC MODE を押して録音モードを選ぶ

• リモコンの**RECモード**でも同様の操作ができます。

3 MD REC を押す

CDとB MDの録音が始まり、表示窓のソース(音源)状態表示が右のようになります。

CD REC B-MD

CDの演奏が終わると、「WRITING」と表示され録音も自動的に終了します。

• B MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します(「録音中の表示窓の表示内容を切換える」➡**30**ページ参照)。

• 録音を途中で停止するときは、■(停止)を押します。

CD-R/CD-RWの録音

CD-R/CD-RWの音声をMDに録音するとき、本体の**MD REC**を押すと、表示窓に「**SCMS CANNOT COPY**」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードが「x1」(等速)のモードを選び、**MD REC**を4秒以上押します。「**ANALOG REC ?**」が表示されている間にもう一度**MD REC**を押して、アナログ録音してください。

指定した曲番号以降の録音

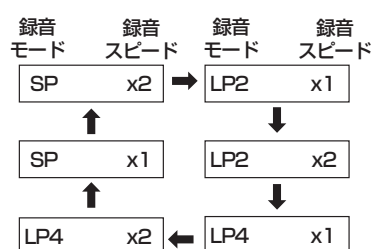
手順3で**MD REC**または**A ► B MD REC** を押す前に操作します。

停止中に**►►I** または **I◄◄** で曲を指定します。指定した曲番号以降の曲を録音します。

A MDの録音

1 録音するMDを入れ、**を押してから ■ を押す**

ソース(音源)をA MDにし、停止状態にします。

2 MD REC MODE を押して録音モードを選ぶ

• リモコンの**RECモード**でも同様の操作ができます。

3 A ► B MD REC を押す

A MDからB MDへの録音が始まり、表示窓のソース(音源)状態表示が右のようになります。

REC A-MD B-MD

A MDの演奏が終わると、「WRITING」と表示され録音も自動的に終了します。

• B MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。
• A MDがランダム演奏モードになっていると、「CANNOT REC」と表示され録音状態になりません。解除しておいてください。

• 録音を途中で停止するときは、■(停止)を押します。

裏録音機能

A MDの音声をB MDに録音中、**CD ▷/II**(またはリモコンの**CD ►/II**)を押してCDの演奏を聞くことができます。
また、CD演奏中に**A ► B MD REC**を押すと、A MDの音声をB MDに録音することもできます。
これを「**裏録音機能**」といいます。
途中で録音をやめるときは、**MD**と**CD**のソース(音源)ごとに■(停止)を押してください。

準備

録音用のMDをB MD挿入口に入れ、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（「B MDに録音する前の設定」➡**28**ページ参照）。

- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**52**ページ参照)。

ラジオ放送を録音する

1 FM/AM/LINE **を押して、FMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する**

2 MD REC MODE **を押して録音モードを選ぶ**

- リモコンのRECモードでも同様の操作ができます。

3 **トラックマークのつけかたを選ぶ**

- 「トラックマークの設定」(➡**31**ページ)をご覧ください。

4 MD REC **を押す**

録音が始まります。

5 **録音をやめるときは ■ を押す**

「WRITING」と表示され録音が終了します。

- B MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。

トラックマークをつけるときは

「トラックマークをつける」(➡**31**ページ)をご覧ください。

テープの録音（シンクロ録音）

1 **録音するテープを入れ、**TAPE **を押してから ■ を押す。次にリモコンの**リバースモード **を押してリバースモードを選ぶ**

ソース(音源)をテープにし、停止状態にします。

2 MD REC MODE **を押して録音モードを選ぶ**

- リモコンのRECモードでも同様の操作ができます。

3 **トラックマークのつけかたを選ぶ**

- 「トラックマークの設定」(➡**31**ページ)をご覧ください。

4 MD REC **を押す**

録音開始に合わせてテープ再生もスタートし(**シンクロ録音**)、表示窓のソース(音源)状態表示が右のようになります。

TAPE
B-MD

テープの再生が終わると、「WRITING」と表示され録音も自動的に終了します。

- B MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。

トラックマークをつけるときは

「トラックマークをつける」(➡**31**ページ)をご覧ください。

- 録音を途中で停止するときは、■(停止)を押します。

録音中の表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに次のように変わります。

CDを録音しているとき:

①録音中のCDの曲番号と曲の残り時間・B MDの録音残量時間→②CDの曲番号・B MDの曲番号・グループ番号→③現在時刻・曜日→①に戻る→…に切換わります。

A MDを録音しているとき:

①録音中のA MDの曲の残り時間・B MDの録音残量時間→②A MDとB MDの曲番号・グループ番号→③曲タイトル→④現在時刻・曜日→①に戻る→…に切換わります。

ラジオ、テープ、他の機器を録音しているとき:

①録音中のソース(音源)名とB MDの録音残量時間→②B MDの曲番号・グループ番号→③現在時刻・曜日→①に戻る→…に切換わります。

他の機器の音声を録音する
（サウンドシンクロ録音）

1 FM/AM/LINE **を押してLINEを選び、他の機器の演奏準備をする**

- あらかじめ他の機器からの音声入力レベルを調節することもできます（➡26ページ参照）。

2 MD REC MODE **を押して録音モードを選ぶ**

- リモコンのRECモードでも同様の操作ができます。

3 **トラックマークのつけかたを選ぶ**

- 「トラックマークの設定」（右の説明）をご覧ください。

4 MD REC **を押す**

表示窓のREC表示が点灯し、録音待機状態になります。

5 **「LINE→B MD」と表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始める**

音声が入力されると録音が自動的に始まります（**サウンドシンクロ録音**）。
また、B MD ▷/IIを押して録音を始めることもできます。

- LINE INからの音声が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

6 **録音をやめるときは ■ を押す**

「WRITING」と表示され録音が終了します。

- B MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。

トラックマークをつけるときは
「トラックマークをつける」（右の説明）をご覧ください。

ご注意

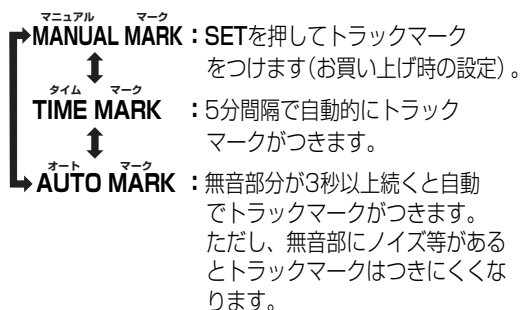
- 接続する外部機器や再生する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。

トラックマークの設定

トラックマークのつけかたを設定します。
- 本体を使って設定します。

① 「MANUAL MARK」が表示されるまで、本体の MD REC を約4秒間押したままにする
次回からは設定した方式が表示されます。

② 表示中に本体の⏭（または ⏮）を押して選ぶ
押すごとに次のように変わります。

MANUAL MARK（マニュアル マーク）：SETを押してトラックマークをつけます（お買い上げ時の設定）。
↕
TIME MARK（タイム マーク）：5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。
↕
AUTO MARK（オート マーク）：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。ただし、無音部にノイズ等があるとトラックマークはつきにくくなります。

トラックマークをつける

マニュアルマーク方式（MANUAL MARK）のとき
録音中に曲の変わり目などでSETを押してトラックマークをつけます。

タイムマーク方式（TIME MARK）のとき
5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。SETを押してもトラックマークをつけることはできません。

オートマーク方式（AUTO MARK）のとき
録音中に無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
SETを押してトラックマークをつけることもできます。

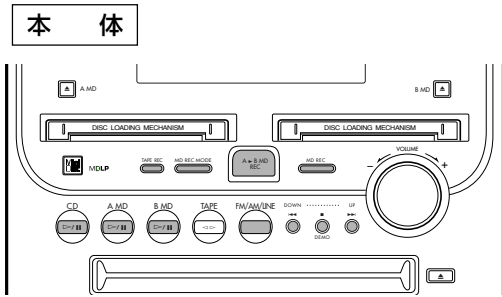
録音が終わったあとでもMDの編集機能（「曲を分ける（DIVIDE）」➡ **38** ページ参照）でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「曲を分ける・曲を消す」などの編集機能をお使いください。

テープに録音する

録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
ハイポジションテープやメタルテープは使えません。

曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。
録音レベルは自動調節されます。

本　体

準備

録音用のテープをカセットホルダーに入れる。
- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡53ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

リモコンの リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

⇄ ：片面のみ録音するとき(片道録音)
⇅
⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音するとき

大切なお知らせ

CD、A MDまたはB MDを演奏中に本体のTAPE RECを押すと、**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。

途中の曲から録音したいときは、CD、A MDまたはB MDの停止中に録音を開始する曲を選んでからTAPE RECを押します。

ご注意

- **生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能(➡38ページ参照)を使ってテープ片面の長さに合わせ、2曲に分けてください。**

録音済みのテープの音を消す

手順1でソース(音源)に「他の機器の音声」のLINEを選び、TAPE RECを押します。録音済みのテープの音が消去され、無音テープになります。この場合、接続した機器は演奏しないでください。

あき(ブランク)を作らずに録音する

CDまたはA MD、B MDを一時停止状態にしてからTAPE RECを押します。

1 録音するソース(音源)を選ぶ

- CDやMDは停止状態にしておきます。

ソース(音源)	操　作
CD	CD ▷/❚❚を押してから■(停止)を押します。
A MD	A MD ▷/❚❚を押してから■(停止)を押します。
B MD	B MD ▷/❚❚を押してから■(停止)を押します。
ラジオ放送	FM/AM/LINEを押してFMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(LINE)	FM/AM/LINEを押してLINEを選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器からの音声入力レベルを調節することもできます(➡26ページ参照)。

2 TAPE REC を押す

録音が始まります。
- ソース(音源)が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。
- ソース(音源)がCD、A MDまたはB MDの場合、シンクロ録音機能によりCD、A MDまたはB MDの演奏が自動で始まり、終わるとテープも自動停止します。
- 録音中にCD、A MDまたはB MDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。

- 録音を途中で停止するときは、■(停止)を押します。録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープのうら面に反転する

CD、A MD、B MDのとき、録音中に曲の途中でA面(おもて面)からB面(うら面)に反転すると、その曲はもう一度頭からB面(うら面)に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前の曲の頭からB面(うら面)に録音されます。

指定した曲番号以降の録音

手順2でTAPE REC を押す前に操作します。

CD、A MD、B MDが停止中に ▶▶❙ または ❙◀◀ で曲を指定します。指定した曲番号以降の曲を録音します。

プログラム録音／1曲録音

録音は、本体のボタンを使って説明します。

プログラム録音

解説・条件

B MDに録音するときは、CDまたはA MDのプログラム録音ができます。
テープに録音するときは、CD、A MDまたはB MDのプログラム録音ができます。

ソース(音源)が「CD」または「A MD」(または「B MD」)で停止状態のとき

1 リモコンの 再生モード を押して「PROGRAM」を選ぶ

2 数字ボタンを押してプログラムする

- CD ▶/❚❚、A-MD ▶/❚❚(またはB-MD ▶/❚❚)は押さないでください。

3 B MDに録音するときは、MD REC MODE を押して録音モードを選ぶ

CD録音するとき

- プログラム録音するときは、録音スピードが「x1」(等速)の録音モードを選びます(➡**29**ページ**手順2**参照)。
  「x5」(最大5倍速)の録音モードを選んで録音を開始すると「CANNOT REC x1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

A MDから録音するとき

- プログラムの中に同じ曲が入っているときは、録音スピードが「x1」(等速)の録音モードを選びます(➡**29**ページ**手順2**参照)。
  「x2」(2倍速)の録音モードを選んで録音すると、倍速録音の規定により録音が途中で停止します。

4 B MDに録音するとき

CD をプログラム録音する：MD REC を押す

A MDをプログラム録音する：A►B MD REC または MD REC を押す

テープに録音するとき

TAPE REC を押す

1曲録音

解説

B MDに録音するときは、CDまたはA MDの1曲録音ができます。
テープに録音するときは、CD、A MDまたはB MDの1曲録音ができます。

CDの1曲をB MDに録音する

- **録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に MD REC を押す**
  演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、CDとB MDが自動停止します。

A MDの1曲をB MDに録音する

- **録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に A►B MD REC または MD REC を押す**
  演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、A MDとB MDが自動停止します。

テープに1曲録音する

- **CD、A MDまたはB MDで録音したい曲の演奏中に TAPE REC を押す**
  演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、テープとCD、A MDまたはB MDが自動停止します。

タイトルをつける

MDのタイトル編集は、停止中または演奏中に
B MDデッキを使ってリモコンで操作します。

タイトル編集する前に

- タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

例:
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

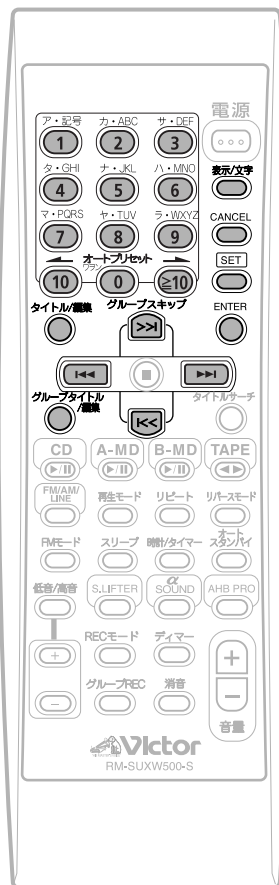
タイトルリザーブ機能

- CDの録音中(1曲録音は除く)は、16曲分のタイトルを前もって入力できます。
  - 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - 録音する曲より多くのタイトルを入力すると、余ったタイトルは取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルをつけることができます。

タイトルをつけるときのご注意

- タイトル入力の操作をしたあとで▲ B MDを押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 誤消去防止状態のMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中、グループ演奏中は、**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

リモコンを使って、MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

- **B MDデッキを使ってリモコンで操作します。**

1 タイトルをつけるMDをB MDデッキに入れる

- 誤消去防止つまみを閉じておきます。（➡**52**ページ参照）

2 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押してタイトル編集モードに切り換える

■ ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

タイトル/編集 を押す

タイトル編集表示になります。

```
DISC TITLE?
 YES?→SET
```

- 曲タイトルを編集するときは、⏭（または⏮）を押して曲番号を選びます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号が表示されます。ディスクタイトルを編集するときは、⏮をくり返し押して「DISC TITLE?」を選びます。

■ グループタイトルを編集するとき

グループタイトル/編集 を2回押す

グループタイトル編集表示になります。

```
GR 1 TITLE?
 YES?→SET
```

- >>I（またはI<<）を押してグループ番号を選びます。
- グループ分けされていないときは、「FORM GR」表示になります。

3 SET を押す

タイトル入力表示に切換わります。

- タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

曲タイトル入力のときは曲番号が、グループタイトル入力のときは「GR」とグループ番号が表示されます。

入力される文字の種類
現在選ばれている文字の種類（例はカタカナ）が［ ］で囲われます。

ア：カタカナ　A：英大文字・記号
a：英小文字・記号　1：数字

4 タイトルを入力する

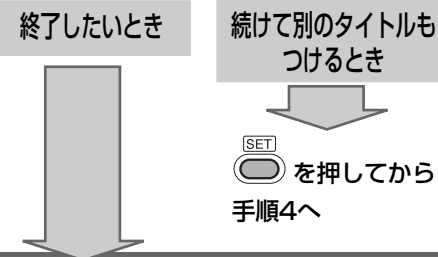
- タイトル入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」（➡**36**ページ）をご覧ください。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字	：文字の種類を切換えます。
≧10(または10)	：入力位置を移動します。
数字ボタン(1~9、0)	：文字を入力します。
CANCEL	：入力した文字を消します。

5 ENTER を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル編集表示が現われます。

6 CANCEL を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**をくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。

7 本体の B MD ⏏（B MD取り出し）を押してMDを取り出す

- MDが出てくる前に「WRITING」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイトル入力を途中でやめる

- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押します。タイトル入力をいつでも解除できます。

タイトルをつける（つづき）

タイトル入力のしかた

■ 入力文字を変更するときは

① 表示/文字 を押す

押すごとに文字の種類が切換わります。

- 入力したい文字は右の「文字配列表」で確認してください。

■ タイトルを入力する

① **数字ボタンを使って、1文字ずつ入力する**

1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」を入力するには

1) 表示/文字 **を押して、「ア」を表示させる**

入力文字が「カタカナ」になります。

2) サ・DEF 3 **をくり返し押して「ス」を表示させる**

押すごとに「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…**」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

文字の入力位置を移動させるには

≧10 （または 10 ）を押します。右（または左）に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に１文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて CANCEL を押します。入力位置の文字が消されます。右側に文字があるときは左に１文字分つまります。

「空白」をつくるには

≧10 で入力位置を右に移動させるか、文字種を[A]または[a]にして「記号」からスペース(空白)を選びます。

- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、≧10 を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	！	”	＃	＄	％	＆	’	（	）	＊	＋
，	－	．	／	：	；	＜	＝	＞	？	＠	＿	｀

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

お知らせ

- **35**ページの**手順2**で曲番号またはグループ番号を選ぶとき、リモコンの≧**10**または**10**を押しても選べます。

MDを編集する前に

MDの編集は、停止中または演奏中にB MDデッキを使ってリモコンで操作します。

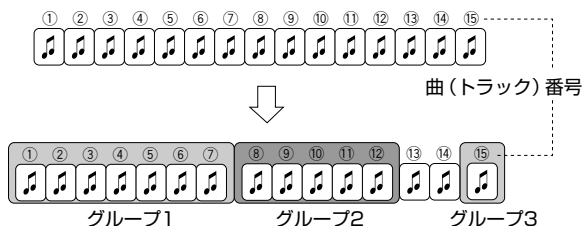
編集をする前に

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中、グループ演奏中は、**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

MDの曲(トラック)編集

- MDの曲(トラック)編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。

MDのグループ機能とは

MDに収録されている曲を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。

MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(**➡23**ページ参照)。
  リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(**➡28**ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(**➡34**ページ参照)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の8つの機能があります。

これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

- **「グループをつくる(FORM GR)」:**
  グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。
- **「グループに登録する(ENTRY GR)」:**
  曲(トラック)をすでにあるグループに登録します。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」:**
  1つのグループを2つに分けます。
- **「グループをつなげる(JOIN GR)」:**
  2つのグループをまとめて1つにします。
- **「グループを移動する(MOVE GR)」:**
  グループの移動をします。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」:**
  1つのグループを解消します。曲(トラック)の消去はしません。
- **「全グループを解消する(UNGR ALL)」:**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の消去はしません。
- **「グループと曲を消す(ERASE GR)」:**
  グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を消去します。

曲を分ける(DIVIDE)

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE?」を選んでから、SET を押す**

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まり、演奏中は演奏が継続します。

2 ►►I (または I◄◄)を押して分けたい曲を選ぶ

- 演奏中に ►►I を押したままにすると早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

3 曲を分けたいところで SET を押す

押したところから3秒間がくり返し演奏されます。

POSIT.　　0
OK?→SET

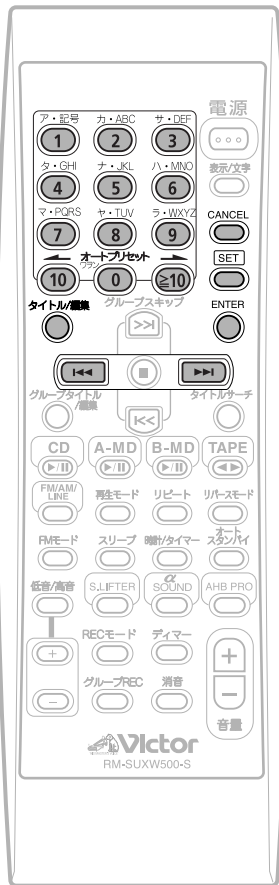
- 希望どおりに分けられたときは、**手順5**に進みます。

4 ►►I (または I◄◄)押して微調節する

±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。

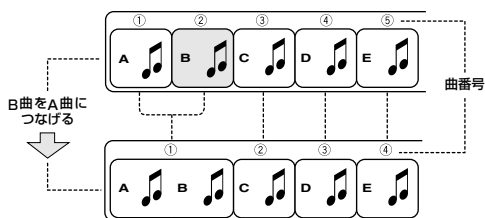
5 SET を押す

6 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- 操作の途中でCANCELを押すと、前の手順に戻ります。
- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すと、編集操作を中止することができます。
- 曲を分ける(DIVIDE)とき254曲録音してあるMDなどは、**手順3**でSETを押すと「DISC FULL」が表示され、曲を分けることができません。
- 曲番号を選ぶとき、**数字ボタン(1〜10、0、≧10)**を押して、直接選ぶこともできます。

曲をつなげる(JOIN)

となり合う2曲をつなげることができます。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「JOIN?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶I (または I◀◀)を押してつなぎたい曲を選ぶ

例:2曲目と1曲目をつなげるとき

1+ 2 ?
OK?→SET

表示は「1+2?」「2+3?」のように変わります。1つ前の曲とつなげることができます。

3 SET を押す

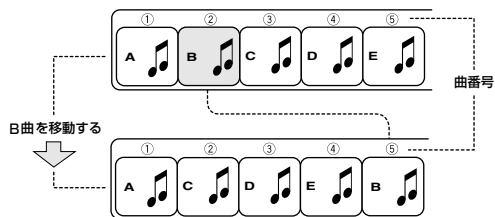
4 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

つなげることができない曲

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。

曲を移動する(MOVE)

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶I (または I◀◀)を押して移動したい曲番号を選び、SET を押す

表示は「 ← 2?」「 ← 3?」のように変わります。

3 ▶▶I (または I◀◀)を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す

例:2曲目を5曲目に移動するとき

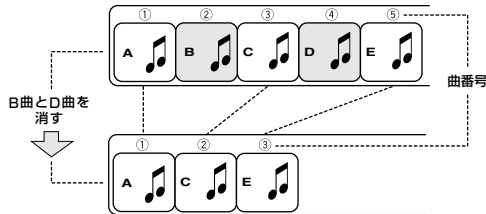
5← 2 ?
OK?→SET

- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。

4 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲を消す(ERASE)

指定した曲を消去します。最大15曲まで1回の操作で消すことができます。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶I（または I◀◀）を押して消したい曲番号を選び、SET を押す

曲番号の前に「」がつきます。「」のついている曲が消えます。

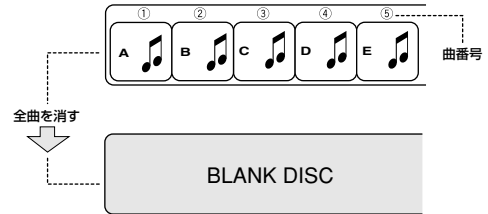
- 間違えたときは、CANCELを押して「」を消します。
- 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。

3 ENTER を押す

4 ENTER を押す

指定した曲が消去されます。
「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を消す(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消去してブランクディスクにします。

ご注意

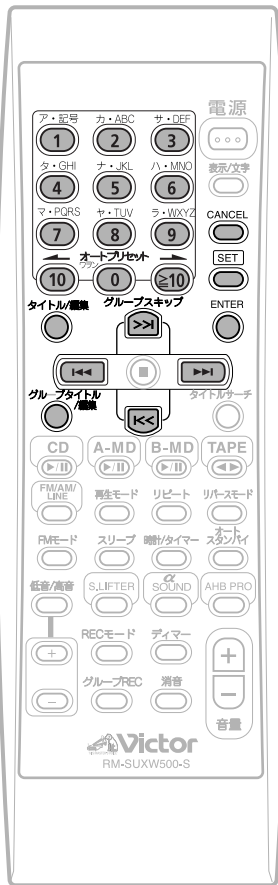
- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

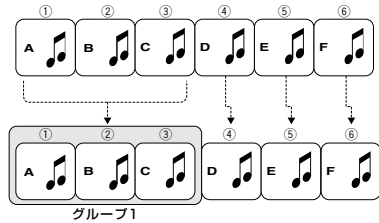
編集する MD を B MD 挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、その後、「BLANK DISC」と表示されます。

MDをグループ編集する

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選んでから、SET を押す

2 (または)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

3 (または)を押して新しいグループの最後の曲を選ぶ

4 SET を押す

5 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。

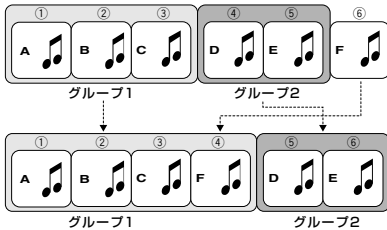
お知らせ

- 操作の途中でCANCELを押すと、前の手順に戻ります。
- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すと、編集操作を中止することができます。
- 曲番号を選ぶとき、**数字ボタン(1〜10、0、≧10)**を押して、直接選ぶこともできます。

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として登録します。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ENTRY GR?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶I（または I◀◀）を押してグループに登録する曲を選び、SET を押す

TR.　6?
OK?→SET

3 >>I（または I<<）を押して登録先のグループを選ぶ

選んだグループ番号が点滅表示されます。

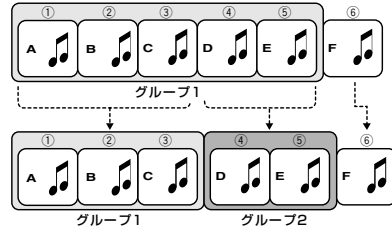
4 SET を押す

5 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、次の手順に進めません。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選んでから、SET を押す

2 >>I（または I<<）を押して分けるグループを選んでから、▶▶I（または I◀◀）を押してどの曲から分けるかを選ぶ

- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。

3 SET を押す

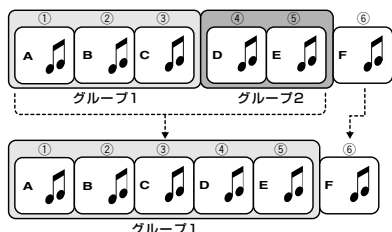
4 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

グループをつなげる(JOIN GR)

ジョイン グループ

となりあう２つのグループを１つのグループにします。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GR?」を選んでから、** SET **を押す**

2 >>I（または I<<）**を押してつなげるグループの組を選ぶ**

```
G  1+G  2?
OK?→SET
```

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。
- つなげるグループの間にグループ登録されていない曲があると、「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

グループを移動する(MOVE GR)

ムーブ グループ

１つのグループを指定したところに移動させせます。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GR?」を選んでから、** SET **を押す**

2 >>I（または I<<）**を押して移動させるグループを選ぶ**

```
G   ←G  2?
OK?→SET
```

3 SET **を押す**

4 >>I（または I<<）**を押して移動先を選ぶ**

```
G  1←G  2?
OK?→SET
```

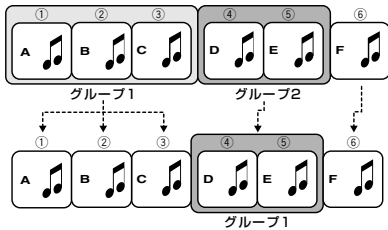
5 SET **を押す**

6 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

MDをグループ編集する（つづき）

グループを解消する (UNGROUP/UNGR ALL)

指定したグループまたは全グループを解消します。解消されたグループ内の曲は消去されません。

編集するMDをB MD挿入口に入れておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「UNGROUP?」を選んでから、SET を押す**

2 **>>I (または I<<)を押して解消するグループを選び、SET を押す**

3 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

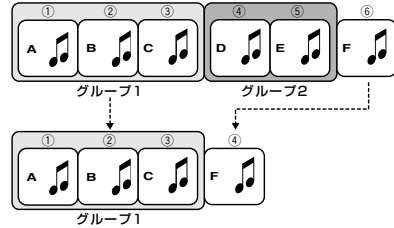
全グループを一度に解消する(UNGR ALL)

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「UNGR ALL?」を選んでから、SET を押す**

2 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

グループと曲を消す(ERASE GR)

グループとそのグループ内の曲を消去します。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

編集するMDをB MD挿入口に入ておきます。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE GR?」を選んでから、SET を押す**

2 **>>I (または I<<)を押して消すグループを選ぶ**

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイマーを使う

タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡12ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、「CLOCK ADJUST!」と点滅表示され、タイマーは働きません。

おやすみタイマー

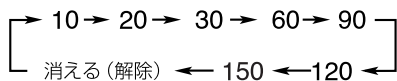
音楽やラジオ放送を聞きながら眠りたいときに使います。

電源を「**切**」にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

- スリープ **を押す**

表示窓の⏻とSLEEP表示が点滅し「SLEEP 10」と表示されます。

- 押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

→ 10 → 20 → 30 → 60 → 90
消える（解除） ← 150 ← 120 ←

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース（音源）の表示に戻り、⏻とSLEEP表示の点滅が点灯に変わります。
- おやすみタイマーを設定すると、ディマー機能のDIMMER 2の状態(➡**14**ページ参照)になり、表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- おやすみタイマー設定後に**スリープ**を1回押すと、電源が「**切**」になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

おやすみタイマーを取り消す

- スリープ時間の表示が消えるまで、**スリープ**をくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。
- 電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマーでおやすみになり、プログラムタイマーで目覚めるには

1. プログラムタイマーでタイマー再生（PLAY TIMER）を設定する（➡**46**～**48**ページ参照）
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する

⋮

- 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、プログラムタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

タイマーを使う（つづき）

TIMER 1、TIMER 2またはTIMER 3に「タイマー再生」または「タイマー録音」の設定ができます。
異なる時間帯に複数のプログラムタイマーを動作させることができます。
タイマー再生が動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります（**ウェイクアップボリューム機能**）。

- **プログラムタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください（➡12ページ参照）。**

ご注意

- **プログラムタイマーで使用する他の機器は、タイマー機能のついた機器をご使用ください。**
- **電源「入」の状態では、プログラムタイマーが動作しません。**
- **複数のプログラムタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に2分以上間隔をあけて設定してください。**

お知らせ

- ラジオをソース（音源）に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておきます（➡**17**ページ「オートプリセット（放送局を自動で記憶）」、「マニュアルプリセット（放送局を手動で記憶）」参照）。
- プログラムタイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- CDやMDのプログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏はできません。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、プログラムタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とプログラムタイマーをもう一度設定し直してください。
- REC TIMER（録音タイマー）で録音中の音量は、「0」に設定されているので音は出ません。音を聞きたいときは、音量を調節してください。

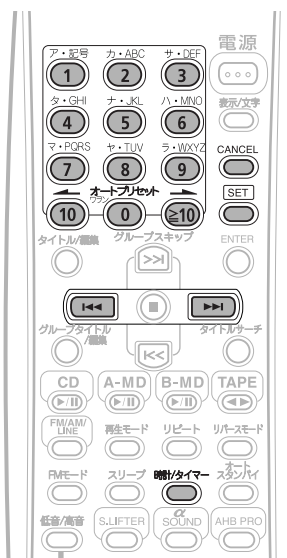
録音または再生するソース（音源）の準備をする

タイマー録音するとき

MD に録音する	B MD デッキに録音用 MD を入れる
テープに録音する	カセットホルダーに録音用テープを入れる

タイマー再生するとき

CD を聞く	CD を入れる（➡**18** ページ）
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れる（➡**19**ページ）
ラジオを聞く	放送局をプリセットしておく（➡**17** ページ）
テープを聞く	テープを入れる（➡**25** ページ）
他の機器の音声を聞く	他の機器のタイマー設定をする

プログラムタイマーの設定

1 **時計/タイマー を押して「TIMER1」、「TIMER2」または「TIMER3」のいずれかを選び、SET を押す**

例：TIMER 1のとき

```
TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL
```

2 **▶▶I（または I◀◀）と SET を使って、タイマーの設定をする**

- 設定方法は、**47**ページをご覧ください。
- 時刻の設定は、リモコンの数字ボタンでもできます（**12**ページ参照）。
- CANCELを押すと1つ前の設定に戻ります。

3 **電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているときは、電源を「切」にする**

電源「入」の状態では、プログラムタイマーは動作しません。

手順2での設定

① 開始時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

② 終了時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

③ ONCEとWEEKLYの設定

「WEEKLY(ウィークリー)」または「ONCE(ワンス)」を選ぶ ➡ SET

- WEEKLY：タイマーを解除するまで毎週動作します。
- ONCE　：タイマーが1回動作すると解除されます。タイマーが解除されても設定内容は残ります。

④ 曜日の設定

「曜日」の設定 ➡ SET
「Sun.」(日曜日)～「Sat.」(土曜日)の各曜日と「Mon.－Fri.」(月曜日～金曜日)、「Mon.－Sat.」(月曜日～土曜日)、「Everyday」(毎日)から選べます。

- 曜日の表示については、「時計を合わせる」(➡**12**ページ)をご覧ください。

⑤ REC TIMER とPLAY TIMERの設定

「PLAY TIMER」または「REC TIMER」を選ぶ ➡ SET

- PLAY TIMER：タイマー再生するとき選びます。
- REC TIMER：タイマー録音するとき選びます。

「PLAY TIMER」選んだときは、**左下の欄に進みます。**
「REC TIMER」を選んだときは、**右下の欄に進みます。**

PLAY TIMERの設定

⑥ 再生するソース(音源)の設定

- **「FM」**(FM放送)**または「AM」**(AM放送) **➡ SET ➡ 受信する放送局のプリセット番号の選択**(数字ボタンでも選べます) **➡ SET**
- **「CD」または「AMD」または「BMD」 ➡ SET ➡ 演奏開始する曲の選択**(数字ボタンでも選べます) **➡ SET**
- **「TAPE」 ➡ SET**
- **「LINE」➡ SET**

⑦ 音量の設定

お好みの音量に調節 ➡ SET

PLAY TIMERの設定は終了です。

➡46ページ手順3へ進みます。

REC TIMERの設定

⑥ 録音するソース(音源)録音先の設定

- **「FM→BMD」**(FM放送をMDに録音する)**または「AM→BMD」**(AM放送をMDに録音する) **➡ SET ➡ 受信する放送局のプリセット番号の選択**(数字ボタンでも選べます) **➡ SET ➡ 録音モードの選択 ➡ SET**
- **「LINE→BMD」**(他の機器の音声をMDに録音する) **➡ SET ➡ 録音モードの選択 ➡ SET**
- **「FM→TAPE」**(FM放送をテープに録音する) **または「AM→TAPE」**(AM放送をテープに録音する) **➡ SET ➡ 受信する放送局のプリセット番号の選択**(数字ボタンでも選べます) **➡ SET**
- **「LINE→TAPE」**(他の機器の音声をテープに録音する) **➡ SET ➡ 録音モードの選択 ➡SET**

REC TIMERの設定は終了です。

➡46ページ手順３へ進みます。

48ページに続く

MDのグループ録音の設定について

プログラムタイマーでB MDに録音するとき、グループ録音の設定は、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。プログラムタイマー設定中は、**グループREC**を押しても設定を変えることはできません。
電源「**切**」でプログラムタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「**入**」にしてから**グループREC**を押してください。

ラジオまたはLINEの
トラックマークのつけかたについて

プログラムタイマーでB MDにラジオまたはLINEを録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。
電源「**入**」のとき、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。設定のしかたは、「トラックマークの設定」(➡**31**ページ)をご覧ください。

プログラムタイマーの解除と
再設定について

プログラムタイマーの解除

47ページで「WEEKLY」に設定したタイマーを一時的に解除するには、**46**ページの**手順1**で解除するタイマーを選び、SETを押さないでCANCELを押します。表示窓の ⏲ とプログラムタイマー番号が消灯します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

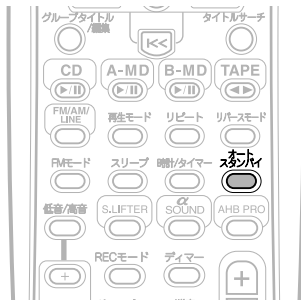
プログラムタイマーの再設定

47ページで「ONCE」に設定して動作が終了したタイマー、上記「**プログラムタイマーの解除**」の操作をして一時的に解除されているタイマーを再設定することができます。

46ページの**手順1**で再設定するタイマーを選び、SETをくり返し押します。設定が終了し表示窓に設定内容が一通り表示されます。

表示窓に ⏲ とプログラムタイマー番号、(REC TIMERのときはREC表示)が点灯していることを確認してください。電源を「**切**」にしておくと、設定した開始時刻でタイマーがスタートします。

オートスタンバイ機能を使う

本機には、ラジオ以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートスタンバイ機能があります。

- オートスタンバイ を2秒以上長押しする

  表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY 表示が点灯します。

オートスタンバイを設定すると
オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓のA. STANDBY表示が点滅に変わります。

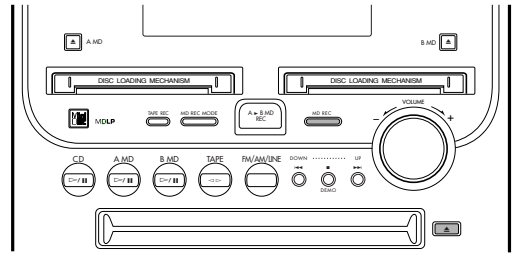
オートスタンバイの動作
CD、A MD、B MDまたはテープを演奏しているとき、またはB MD、テープで録音しているとき:
演奏または録音が終了すると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

他の機器の音声を聞いているとき:
無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の情報表示部に「A. STANDBY OFF」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除する
オートスタンバイをもう一度2秒以上長押しします。
表示窓に「A. STANDBY CANCEL」と数秒間表示され、A. STANDBY表示が消灯します。

チャイルドロック機能

A MDとB MD挿入口、CDトレイを電子ロックして⏏を押してもMDやCDトレイが出てこないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 **電源を「切」にする**

電源が「**入**」のままでは設定できません。

2 **MD REC を押したまま ⏏ (CD取り出し)を押す**

「LOCKED」と表示され、**MD挿入口、CDトレイがロックされます。**

LOCKED

- チャイルドロックを設定するとA MD、B MD取り出しまたはCDトレイのいずれの ⏏ を押しても「LOCKED」と表示され、MDまたはCDトレイが出てこなくなります。
- 電源「**切**」のときに⏏を押すと「LOCKED」と表示されます。
  電源は「**切**」のままです。

チャイルドロックを解除する
もう一度、**手順1**と**2**の操作をします。
「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

知っておいてほしいこと

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

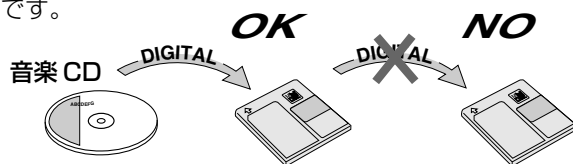
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません(録音可能な最大トラック数は254曲まで)。
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下(SP:標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP:標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、**CD**のクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音された**MD**を他の**MD**に再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりを**SCMS**(シリアル·コピー·マネージメント·システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)
（シリアル コピー マネージメント システム）

シリアル·コピー·マネージメント·システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先:
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意
- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、本機または他の機器でデジタル録音することはできません。
- CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます(➡**29**ページ参照)。

倍速録音に関して(HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDまたはMDから一度倍速録音(等速を超える録音)した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲(MDの場合は、そのMD全曲)の倍速での再録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲まで録音することができます。

MD/CDのメッセージ

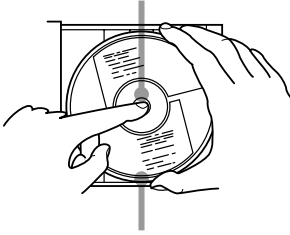
MDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡**42**ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡**41**ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。 (グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。 (不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
	離れているグループをつなげようとした。	となりあうグループとつなげる(➡**43**ページ参照)。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、録音しているソース(音源:CDまたはA MD)の音は聞けません。 • A MDの音をB MDに倍速録音しているとき、CDの音を聞くことはできます(裏録機能➡**29**ページ参照)。
CANNOT REC	A MDがランダム演奏モードのとき、B MDで録音しようとした。	ランダム演奏モードを解除してください(➡**23**ページ参照)。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡**52**ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)を押していったん停止してから、⏏ B MD(取出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡**41**ページ参照)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音·編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
READ ERROR	MDの目次(UTOC)情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	メッセージ表示後、自動でアナログ録音になります。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

CDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	演奏できないCDまたは傷の多いCDを演奏しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

•ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ…

②演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

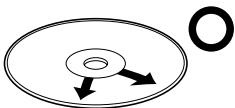
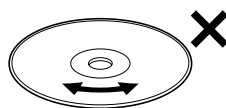
① 文字のある面を上にして…

② 上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。

- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

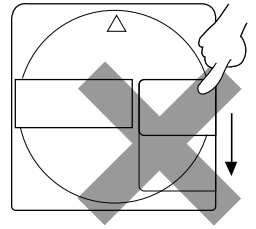
CDのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

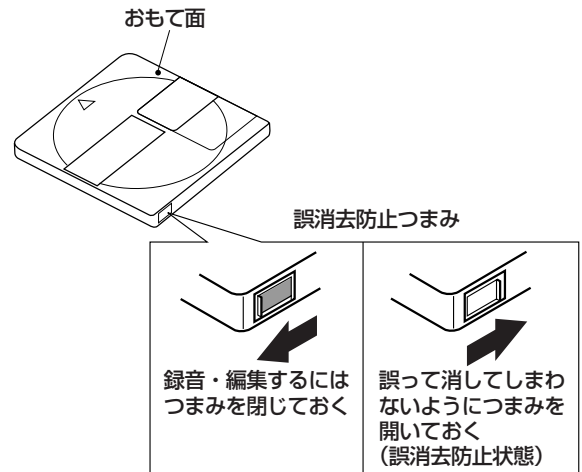
MDの取り扱いかた

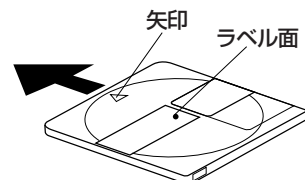
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとMDがこわれます。

定期的にお手入れを

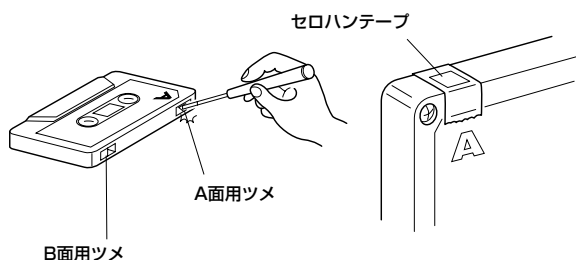
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

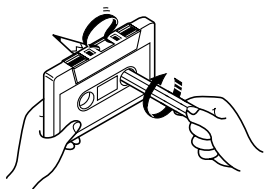
大切な録音を消さないために

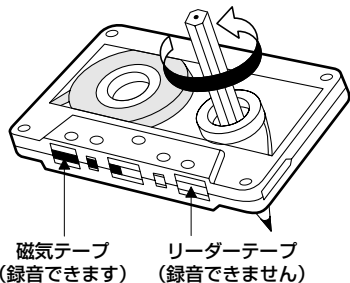
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

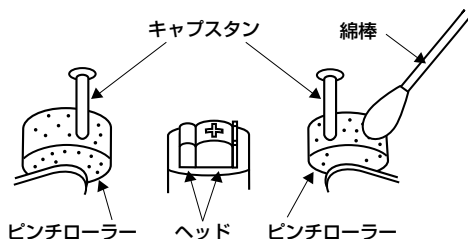
- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

テープデッキのヘッド部の清掃

- **ヘッド部の清掃**
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

ご注意

- **ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。**

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	7～9
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	10
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いたため。	時計を合わせ直す。	12
CD/MDの再生が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	18
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う。	•
特定な箇所が正常に再生できない。	CDに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	CDまたはMDをクリーニングするか、 または交換する。 MDを録音し直す。	52
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。	本体と平行にして、軽くMDを押して入れ直す。	19
	すでにMDが入っている。	MDを取り出してから操作する。	
MD/テープ録音ができない。	MDの誤消去防止つまみが開いた状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	52
	テープの誤消去防止用のツメが折れている。	テープの誤消去防止用ツメの穴をセロハンテープなどでふさぐ。	53
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	53
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	7～8
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	•
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。	正しい時刻に設定し直す。	12
	タイマーが解除されている。	タイマー表示を確認して、設定し直す。	46
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	スピーカーコード（端子）がショートしてアンプに負担がかかりすぎている。	スピーカーコード（端子）がショートしていないか確認する。 それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	•

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは…**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

● **表示窓が勝手にデモ表示の動作をしている**
電源「**切**」のままで本体の**■/DEMO**ボタンを2秒以上押してください。「DEMO CLEAR」が表示され、デモ表示は動作しなくなります。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音･再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または**56**ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

54ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　名	UX-W500-S（シルバー）
	UX-W500-W（ホワイト）
	UX-W500-B（ブラック）
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市柱木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1005

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■ MD/CDレシーバー

(CA-UXW500-S/CA-UXW500-W/CA-UXW500-B)

アンプ部

実用最大出力	20W+20W (JEITA/4Ω)
入力端子	
＜アナログ＞	LINE IN×1 500mV/49kΩ:LEVEL1 250mV/49kΩ:LEVEL2
	出力端子
＜アナログ＞	スピーカー×1系統、20W/4Ω 適合インピーダンス 4Ω～16Ω ヘッドホン×1、5mW/32Ω 適合インピーダンス 16Ω～1kΩ LINE OUT×1 250mV/3.2kΩ サブウーハー出力×1 420mV/2.8kΩ

チューナー部

受信周波数	FM : 76.00MHz～108.00MHz AM : 531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM : 75Ω不平衡型 AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作(ONCE/WEEKLY切換可能)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分 (ディマー機能の DIMMER 2 の状態)
時刻表示	24時間表示

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2 チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz +1dB/−2dB (JEITA)

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間 (MD80使用)	録音モードSP :80分 録音モードLP2 :160分 録音モードLP4 : 320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去(2ギャップフェライト) 録音・再生(ハードパーマロイ) } コンビネーション×1
早巻き時間	約145秒(C-60)

共通部

電源電圧	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 50W 電源「待機」時 11W(表示窓「点灯」) 電源「待機」時 1.0W(表示窓「消灯」)
最大外形寸法	幅185mm × 高さ170mm × 奥行363mm
質量	約 6.2kg

■ スピーカー:1本当たり

(SP-UXW500-S/SP-UXW500-W/SP-UXW500-B)

形式	3ウェイバスレフ型(JEITA)
使用スピーカー	低音用 : 11cm 丸形 × 1 中高音用 : 4cm 丸形 × 1 高音用 : 1.5cm 丸形 × 1
最大入力	20W(JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	55Hz～40kHz
出力音圧レベル	84dB/W・m
最大外形寸法	幅 125mm × 高さ 257mm × 奥行202mm
質量	約 1.9kg(1本)

■ マイクロコンポーネントMDシステム

(UX-W500-S/UX-W500-W/UX-W500-B)

総　合

最大外形寸法	幅 435mm × 高さ 257mm × 奥行363mm
質量	約 10kg

付属品 : ➡6 ページ参照

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

別売りのオプション品

- パワードサブウーハー :SP-DW1
- ステレオミニプラグコード :CN203A(1.5m)
- CDレンズクリーナー :CL-CDLA
- MDレンズクリーナー :CL-MLA
- アンテナコネクター :VZ-71A (75Ω/300Ω)
- FMフィーダーアンテナ :CN-511A(300Ω)
  (アンテナコネクター:VZ-71Aと一緒に使います。)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

索引

数字・英字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/audio/

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
56ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1205TNMNATJEM